

とあるオンラインゲーム上でのお話。

[設定](#)  
[スキル](#)

ジェイド 青年タイプのアバター推定17歳、ジョブクラスはナイト。  
(以下もジェイド) 声も思春期の青年をイメージ、とっても素直な子。  
主人公っぽく、ロールしている。  
中の人と同じ位の年齢で、精神年齢もそんな感じ。  
久しぶりに、彼のターンがやってきました。

ヒメリ 少女タイプのアバター推定16歳、ジョブクラスはウィザード。  
(以下もヒメリ) 声は元気な子をイメージ、私ルール全開だけど、  
思いやりも持ち合わせている子。  
中の方は大人な女性だったり、色々経験積んでます。  
火属性広域上級魔法『インフェルノ』を使うのが好き。

マスカレイド 少女タイプのアバター推定16歳、ジョブクラスはプリースト。  
(以下マスカ) 声は清楚なお嬢様をイメージ、ネガティブ思考。  
それなりにレベルは上げているが、まだまだ初心者。  
あんまり、ゲームセンスは無い。  
キャラクターの髪型がポニーテールなのは、  
元気な子になりたいという変身願望から。

システムボイス ゲーム本体からのシステムメッセージです。(被り奨励)  
(以下システム) なんかこう、機械が発しているそんなイメージ。  
お昼のニュースを読んでいるニュースキャスターのような感じ。  
今回は、被りの関係で男性がいいかも。

ガゼルandユートリア 一般モンスターとダンジョンボスモンスター (被り奨励)  
(以下ガゼル・ユート) グオオオって言うだけの簡単なお仕事。

配役表(奨励四人 1:2:1)

ジェイド :  
ヒメリ :  
マスカ :  
システムボイス :  
ガゼルandユートリア :

1システム ダンジョン『ユートリアの迷宮』第2層。

2ジェイド 「ぬおー！ここも行き止まりか！」

3ヒメリ 「中々たどり着けないねえ」

4ジェイド 「不親切すぎないか、このダンジョンの構造！迷路だよ、迷路！」

5ヒメリ 「『ユートリアの迷宮』ダンジョンに潜ってる冒険者の台詞とは思えないね」

6ジェイド 「ダメなんだよなあ迷路、あんまり記憶力良くねえし」

7ヒメリ 「こんなの、フィーリングで進んでれば何とかかなるよ！」

8ジェイド 「相方は、こんな調子だし……」

9ヒメリ 「え、なにそれ、不満?!」

10ジェイド 「こんなことなら、下調べしてから潜るんだった……」

11ヒメリ 「そう……スルーするのね」

12ジェイド 「これは、最近身に着けた、身を守る術だ」

13ヒメリ 「何から!？」

14ジェイド 「ん、戦闘音?向こうからだ、人が居るかもしれないな、行ってみよう」

15ヒメリ 「うん」

16マスカ 「えい!やあ!あっち行って!」

17ジェイド 「プリーストの、ソロ?」

18ヒメリ 「装備を見た感じ、レベルは適正みたいだけど、プリさんのソロって珍しいねえー」

19マスカ 「ひゃうっ!」

20システム マスカレイドさんが、戦闘不能になりました。

21ヒメリ 「あらあら、やられちゃった」

22ジェイド 「助けるぞ、援護よろしく!」

23ヒメリ 「あいあい!」

24ヒメリ 「リバイブハーブ」

25システム マスカレイドさんが、復活しました。

26マスカ 「ありがとうございました、たすかりました」

27ヒメリ 「どういたしまして、でもデスペナ喰らっちゃったね……」

28マスカ 「いつものことですから、どうぞお気になさらずに」

29ジェイド 「いつも……という事は、ソロでの狩りも?」

30マスカ 「はい、ソロがほとんどですね」

31ヒメリ 「プリーストって、引く手数多じゃん! 適当に募集すれば、パーティ組めるんじゃないかなあ?」

32マスカ 「その……私、下手なんで、いつも皆さんの足を引っ張ってしまっ……」

33ジェイド 「上手いプリの人のプレイは、印象に残りやすい。みんな、そのレベルのプレイを無意識に要求してる。そんな傾向があるって、聞いたことがあるな。」

34ヒメリ 「なにそれ!ヒドイ!!」

35ジェイド 「俺に言うな」

36マスカ 「……でも、私が力不足なのは、事実ですから」

37ヒメリ 「それで、自信が付くまでソロで練習を?」

38マスカ 「はい」

39ヒメリ 「何やってんの、ジェイド」

40ジェイド 「え……何?」

41ヒメリ 「マスカレイドちゃんを、早くパーティに突っ込みなさいよ!」

42ジェイド 「あー、了解ですレディ」

43システム ジェイドさんが、マスカレイドさんをパーティに招待しました。

44マスカ 「え、でも私、また足を引っ張って……」

45ヒメリ 「パーティブレイの技術なんだから、パーティで練習しなきゃダメでしょ！ 私達は、全然気にしないから、ね？」

46ジェイド 「もっともだな、たまにはいい事言うじゃないか」

47ヒメリ 「プリティーで完璧なヒメリちゃんを、もっと褒めなさい」

48ジェイド 「言っておくと、あんまり褒めてないぞ？」

49マスカ 「えっと……でも」

50ヒメリ 「こんな所ではったり会ったのも、何かの縁だって。ほらほら、早く認証する」

51マスカ 「わかりました、お世話になります」

52システム マスカレイドさんが、パーティに追加されました。

53ヒメリ 「よろ！」

54ジェイド 「よろ」

55マスカ 「よろしくです」

56ジェイド 「んで」

57ヒメリ 「そいで？」

58ジェイド 「依然迷子続行中なワケだが」

59マスカ 「すみません、道調べておかなくて」

60ヒメリ 「いやいや、お互い様でしょ、この状況は」

61ジェイド 「迷子と迷子が合流したダケっていう、なんとも面白い状況だな。いやー、人がいるからもしかして、とは思ったんだがなあ」

62マスカ 「そして、分かれ道ですね」

63ヒメリ 「うーん、右！」

64ジェイド 「さっきも右だったよなあ、グルグル回ってるだけなんじゃ……」

65マスカ 「風景も、全然変わりませんし……」

66ヒメリ 「いいの！ 私のフィーリングがコッチだって告げているの、マキシマムに！」

67ジェイド 「マキシマムって……」

68マスカ 「たどり着けるのでしょうか……？」

69システム ダンジョン『ユートリアの迷宮』第3層。

70ガゼル 「グガァー！」

71マスカ 「ひゃうんっ！」

72ジェイド 「なぜマスカさんが俺より前に出ているんだ！？」

73マスカ 「ヒール！」

74ヒメリ 「マスカちゃん！ それ違う！ モンスター回復してるから！！」

75マスカ 「ジェイドさんを回復しようとしたのに……」

76ジェイド 「い.....いいから、早く後ろにさがって！」

77マスカ 「いえ、ジェイドさんを回復しなくては」

78ヒメリ 「マスカちゃん！危ない！！」

79ガゼル 「グガァー！」

80システム マスカレイドさんが、戦闘不能になりました。

81マスカ 「あうあう」

82ヒメリ 「ドンマイ、次頑張ろう！」

83ジェイド 「南無」

84システム ダンジョン『ユートリアの迷宮』第4層。

85マスカ 「ヒールがかかりませんー！」

86ヒメリ 「マスカちゃん！岩！引っかかっている！」

87ジェイド 「ぜえ...ぜえ...ヒールは、まだですか.....」

88ヒメリ 「ジェイドがマスカさんにヒールさせるために、回復アイテムを使わずに戦い続けて干からびそうになってる!？」

89マスカ 「待っててください！今ヒールを！」

90ヒメリ 「マスカちゃん！動いて！岩が邪魔で届かないから！キャラクターを移動させてえ！」

91マスカ 「なるほど、そうだったんですね！あ、後ろからもモンスターさん」

92ガゼル 「グガァー！」

93ヒメリ 「危ない、マスカちゃん！このお！インフェルノオオオオオ!!」

94ガゼル 「グヲオオオ!!？」

95マスカ 「ひゃうん!？」

96ヒメリ 「危なかったねえ、マスカちゃん」

97マスカ 「ひどいです.....ヒメリさん、攻撃するなんて.....」

98ヒメリ 「いや、その、ガゼルを攻撃するために.....」

99マスカ 「気にしないって、言ったじゃないですかー！」

100ヒメリ 「たまたま、巻き込んだだけだって」

101マスカ 「それもこれも、私がダメだから.....うう。」

102ヒメリ 「悪かった！私が悪かったから泣かないでえ！」

103ジェイド 「ヒールは、ヒールは.....まだですかああ.....。」

104マスカ 「もう、何やってもだめなんですうー！」

105ヒメリ 「私が.....泣きたい」

106ジェイド 「ヒールう.....」

107システム ジェイドさんが、戦闘不能になりました。

108システム ダンジョン『ユートリアの迷宮』第5層。

109ジェイド 「すごく色々あったな」

110ヒメリ 「すっごく色々あったねえ」

111マスク 「すごくダメダメでした……」

112ジェイド 「けど」

113ヒメリ 「なんとか」

114マスク 「最深部、到達です」

115ヒメリ 「これも、ヒメリちゃんのお陰なフィーリングのお陰ね！マキシマムに！」

116ジェイド 「平均クリアタイム一時間、今回のタイムは二時間。しかも途中で、攻略サイト見に行ったからな、俺が」

117マスク 「これも、私の支援がボロボロだった所為です……」

118ジェイド 「あんまり関係ないです」

119マスク 「関係ない……」

120ヒメリ 「さぁ！最後の仕上げ！ボスを倒してお宝をいただきましょう！」

121ジェイド 「おうさ！」

122マスク 「ボロボロですけど、頑張ります！」

123システム 最深部に到達しました、ダンジョンボスを生成します。

124ユートリア 「グオオオオオ!!」

125システム ダンジョンボスを撃破しました、宝箱を入手しました。

126マスク 「勝った……？」

127ジェイド 「ああ、勝ったな」

128ヒメリ 「大勝利ー！」

129ジェイド 「お疲れえ……意図せず、大冒険になってしまったな」

130ヒメリ 「ハラハラしたけどね、ナイス補助だったよぉ」

131マスク 「ホントですか！？」

132ジェイド 「ああ、二人じゃ敵わなかつただろうね」

133ヒメリ 「マスクちゃんのお陰だよ」

134マスク 「よかったぁ……、これでちょっと自信持てそうです。私、リアルでも何やっても上手くいかなくて……。ゲームの中なら大丈夫になって思ったけど、そうもいなくて、ちょっと悩んでたんです」

135ジェイド 「なるほど、ね」

136マスク 「それで、知り合いの先輩さんに相談したんですけど、そしたら『変わるさ、素敵な出会いがあればね、外で何か出来ることをしてごらん。きっとあるさ、素敵な出会いが』って」

137ヒメリ 「それで、ソロでダンジョンなんかに入ってたのかぁ」

138マスク 「言うとおりにになりました！お二人に出会えて、何か変われそうな気がします！」

139ヒメリ 「いえいえ、どういたしまして！」

140マスク 「えっと、先輩さんに報告したいので、私はこれで失礼しますね！」

141ジェイド 「また一緒しましょう」

142ヒメリ 「またねー！」

143システム マスカレイドさんが、パーティから抜けました。

144ジェイド 「さて、宝箱でもあけますか」

145ヒメリ 「何が出るかなー」

146システム 宝箱を使用しました、アイテム『ライダーズヘルメット』を入手しました。

147ジェイド 「む、ライダーズヘルメットか、中々の品だな」

148ヒメリ 「私も同じのだ！」

149ジェイド 「おう、珍しいこともあるもんだな」

150ヒメリ 「お揃いだね」

151ジェイド 「お……おう」

152ヒメリ 「着用、義務だからね！」

153ジェイド 「あー、そうなると思った……」

2話ぶりの主人公ジェイド君がつつり出番。よかったね。

ネットゲーム用語解説集

リバイブハーブ アイテムの名前。戦闘不能のキャラクターを復活。

書いた人：柿崎     どんどん繋がる。